

令和 7 年度
(2025 年度)

事業報告書

(令和 7 年 4 月 1 日より令和 8 年 3 月 31 日)

学校法人 長聖

目 次

ページ

I. 法人の概要

1. 基本情報	1
2. 建学の精神	1
3. 法人の沿革	1
4. 設置している学校・学科等	3
5. 入学定員・入学者数・在籍者数・収容定員充足率	3
6. 役員の概要	4
7. 評議員の概要	4
8. 会計監査人の概要	4
9. 理事選任機関	4
10. 教職員の概要	5

II. 事業の概要

1. 法人全体	5
2. 理事会及び評議員会の開催状況	6
3. 長野短期大学	7
4. 長野女子高等学校	8
5. 佐久長聖高等学校	10
6. 佐久長聖中学校	14
7. サミットアカデミーエレメンタリースクール佐久	14
8. サミットアカデミーエレメンタリースクール長野	14
9. サミットアカデミーセカンダリースクール長野	15

III. 財務の概要

1. 決算の概要	15
2. 資金収支計算書	16
3. 事業活動収支計算書	17
4. 貸借対照表の状況	18
5. 中・長期計画の策定	18

I 法人の概要

1. 基本情報

(法人の名称) 学校法人長聖 (令和 5 年 4 月 1 日合併認可)
(主たる事務所の住所) 長野県佐久市岩村田 951 番地

2. 建学の精神

「自由と愛」「配慮ある愛の実践」

3. 法人の沿革

(1) 学校法人の沿革

【学校法人長聖】 旧 (学校法人聖啓学園)

年 月	概 要
昭和 42 年 3 月	学校法人小諸学園設置認可
昭和 42 年 4 月	しらかば幼稚園開設
昭和 58 年 4 月	上田北幼稚園開設
平成 12 年 2 月	法人名を学校法人小諸学園→学校法人聖啓学園に名称変更
平成 15 年 4 月	臼田幼稚園を開設
平成 16 年 4 月	学校法人佐久学園より佐久長聖高等学校(昭和 39 年 4 月開設)及び佐久長聖中学校 (平成 6 年 4 月開設)を設置者移管
平成 17 年 4 月	臼田幼稚園を佐久南幼稚園に名称変更
平成 29 年 3 月	学校法人信学会へしらかば幼稚園、上田北幼稚園、佐久南幼稚園を設置者移管
令和 5 年 4 月	学校法人長野家政学園との合併に伴い、長野女子短期大学(昭和 42 年 4 月開学)、長野女子高等学校(昭和 32 年 4 月開学)を継承し、法人名を学校法人長聖へ改称
令和 5 年 4 月	長野女子短期大学生活科学科食物栄養専攻を食物栄養学科に名称変更 食物栄養学科定員変更届出(令和 6 年度より入学定員 55 名→50 名)
令和 5 年 6 月	長野女子高等学校 令和 6 年度生より生徒募集停止
令和 6 年 4 月	長野女子短期大学を長野短期大学に名称変更し男女共学とする 長野短期大学幼児教育学科開設 (入学定員 50 名) サミットアカデミーセカンダリースクール長野 (入学定員 80 名) 開校 サミットアカデミーエレメンタリースクール長野 (入学定員 60 名) 開校 サミットアカデミーエレメンタリースクール佐久 (入学定員 30 名) 開校
令和 8 年 3 月	長野女子高等学校 閉校 サミットアカデミーセカンダリースクール長野→サミットアカデミー長聖中等教育学校に変更 サミットアカデミーエレメンタリースクール長野→サミットアカデミー長聖小学校に変更 (いずれも R8.4 より)

	長野短期大学幼児教育学科定員変更届出 R8.4 より 1 学年定員 50 名→35 名に変更。
--	---

(学校法人長野家政学園)

年 月	概 要
昭和 32 年 2 月	学校法人家政学園設置認可（長野県知事認可）
昭和 32 年 2 月	長野女子高等学校設置認可
昭和 32 年 4 月	長野女子高等学校開設（1 学年定員 150 名）
昭和 33 年 4 月	長野女子高等学校学則変更（1 学年定員 350 名）
昭和 42 年 1 月	法人名を長野家政学園に改名し、長野女子短期大学家政科設置認可（文部大臣認可）
昭和 42 年 4 月	長野女子短期大学家政科開設（入学定員 100 名）
昭和 49 年 4 月	長野女子短期大学家政科を家政学科に名称変更し、家政専攻、被服専攻に専攻分離
昭和 51 年 4 月	長野女子短期大学の収容定員変更認可（入学定員 100 名→150 名）
平成元年 4 月	長野女子短期大学家政学科を生活科学科に名称変更
平成 9 年 4 月	同上 生活科学科を生活科学専攻（入学定員 105 名）と食物栄養専攻（入学定員 45 名）に専攻分離
平成 15 年 4 月	同上 生活科学科生活科学専攻の入学定員を 40 名減じ 65 名とし、生活福祉専攻（入学定員 40 名）に分離
平成 18 年 3 月	同上 保育士養成施設として厚生労働大臣より認可
平成 18 年 4 月	同上 生活科学科生活科学専攻（入学定員を 65 名）を募集停止とし、児童福祉専攻（入学定員 40 名）を設置
平成 21 年 6 月	同上 収容定員変更届出（入学定員 125 名→100 名）
平成 22 年 4 月	同上 収容定員変更届出（入学定員 100 名）、食物栄養専攻（入学定員 45 名）、児童福祉専攻（入学定員 40 名→25 名）、生活福祉専攻（入学定員 40 名→30 名）
平成 22 年 12 月	同上 収容定員変更届出（入学定員 100 名→75 名）、児童福祉専攻（入学定員 25 名）を募集停止とする
平成 23 年 4 月	長野女子高等学校学則変更（入学定員 350 名→160 名）
平成 29 年 9 月	長野女子短期大学収容定員変更届出（定員振替）、生活福祉専攻（入学定員 30 名→20 名）、食物栄養専攻（入学定員 45 名→55 名）
令和 2 年 4 月	同上 収容定員変更届出（入学定員 75 名→55 名）、生活福祉専攻（入学定員 20 名）を募集停止とする
令和 4 年 11 月	長野女子短期大学学科名称の変更について届出（令和 5 年 4 月より生活科学科食物栄養専攻を食物栄養学科に名称変更）
令和 5 年 3 月	令和 5 年 4 月 1 日付 学校法人聖啓学園との法人合併により学校法人長野家政学園を解散 合併後の法人名を学校法人長聖に改称

【学校法人佐久学園】

年 月	概 要
昭和 39 年 3 月	学校法人佐久学園設置認可
昭和 39 年 4 月	佐久高等学校（全日制普通科）開設（学則定員 1 学年 360 名）
昭和 63 年 4 月	信州短期大学経営学科開設（1 学年定員 100 名）
平成 7 年 4 月	佐久高等学校を佐久長聖高等学校に校名変更
平成 7 年 4 月	佐久長聖中学校開設（1 学年定員 80 名）
平成 16 年 4 月	学校法人聖啓学園へ佐久長聖高等学校・佐久長聖中学校を設置者移管

4. 設置している学校・学科等

- （１）長野短期大学 幼児教育学科、食物栄養学科
- （２）長野女子高等学校 全日制
- （３）佐久長聖高等学校 全日制普通科
- （４）佐久長聖中学校
- （５）サミットアカデミーエレメンタリースクール佐久
- （６）サミットアカデミーエレメンタリースクール長野
- （７）サミットアカデミーセカンダリースクール長野

5. 入学定員・収容定員・入学者数・収容定員充足率の状況（令和 7 年 5 月 1 日現在）

	入学 定員	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計	定員 充足率
長野短大(計)	100	66	42	-	-	-	-	108	54.0
幼児教育学科	50	18	10	-	-	-	-	28	28.0
食物栄養学科	50	48	32	-	-	-	-	80	80.0
長野女子高校	80	0	0	23	-	-	-	23	28.8
佐久長聖高校	315	284	306	341	-	-	-	931	98.0
佐久長聖中学	140	99	100	114	-	-	-	313	74.5
サミットアカデミー エレメンタリースクール佐久	30	30	29	28	29	27	28	171	95.0
サミットアカデミー エレメンタリースクール長野	60	38	46	-	-	-	-	84	70.0
サミットアカデミー セカンダリースクール長野	80	19	25	-	-	-	-	44	27.5
合 計	805	536	477	506	29	27	28	1,674	79.3

※佐久長聖高校の入学定員は令和6年より320→315に変更

6. 役員の概要

理事 定員数 5～7名 現員数 6名
 監事 定員数 2名 現員数 2名 (令和7年5月28日現在)

職 名	氏 名	選任区分		就任年月日
		選任条項	選任区分	
理事長(常勤)	イカワ 弘徳恵	8-1-1	評議委員会選任	令和7年5月28日
理事 (常勤)	依田 彰	8-1-1	校長理事	令和7年5月28日
理事 (常勤)	畔上 一康	8-1-1	学長理事	令和7年5月28日
理事 (常勤)	小林 健雄	8-1-2	評議委員会選任	令和7年5月28日
理事 (非常勤)	富山 泰	8-1-2	評議委員会選任	令和7年5月28日
理事 (非常勤)	小林 経明	8-1-2	評議委員会選任	令和7年5月28日
監事 (非常勤)	堀内 勝也	23-1	評議委員会選任	令和7年5月28日
監事 (非常勤)	塩沢 均	23-1	評議委員会選任	令和7年5月28日

7. 評議員の概要

評議員 定員数 6～8名 現員数 7名 (令和7年5月28日現在)

職 名	氏 名	選任区分		就任年月日
		選任条項	選任区分	
評議員	イチカワドイル・ウォルター	32-1-1	法人職員	令和7年5月28日
評議員	荻原 美広	32-1-1	法人職員	令和7年5月28日
評議員	宮下 和貴	32-1-2	卒業生	令和7年5月28日
評議員	座光寺 るい	32-1-2	卒業生	令和7年5月28日
評議員	倉石 和明	32-1-3	学識経験者	令和7年5月28日
評議員	倉田 浩	2号	学識経験者	令和7年5月28日
評議員	倉升 亜紀	3号	学識経験者	令和7年5月28日

8. 会計監査人の概要

定 員 1名以上

現 員 2名

就任年月日 令和7年5月28日

金子公認会計士事務所

公 認 会 計 士 金 子 剛

荻原好規公認会計士事務所

公 認 会 計 士 荻 原 好 規

9. 理事選任機関

この法人の理事選任機関は評議員会とする。（寄附行為第7条）

10. 教職員の概要

令和7年度 教職員数

令和7年5月1日現在

学校名	教 員			職 員			合 計
	本務	兼務	計	本務	兼務	計	
長野短大(計)	17	22	39	7	3	10	49
幼児教育学科	6	16	22	2	2	4	26
食物栄養学科	11	6	17	5	1	6	23
長野女子高校	6	5	11	3	0	3	14
佐久長聖高校	64	9	73	38	3	41	114
佐久長聖中学	22	8	30	14	4	18	48
サミットアカデミー エレメンタリース クール佐久	15	0	15	3	0	3	18
サミットアカデミー エレメンタリース クール長野	10	0	10	1	1	2	12
サミットアカデミー セカンダリースク ール長野	11	2	13	1	0	1	14
合 計	145	46	191	67	11	78	269

※法人部門兼務職員を含む。

2. 理事会及び評議員会の開催状況

理事会

	日 時	主な議題
第 1 回	5月28日(水)14:00～	令和 6 年度事業報告並びに決算に関する件、職員評議員の選任に関する件、収益事業の今後に関する件
第 2 回	5月28日(水)15:30～	理事長、副理事長の選任に関する件、業務執行理事の選任に関する件、競業および利益相反取引の制限に関する件
第 3 回	6月25日(水)14:00～	授業料、館費および給食費の見直し(案)に関する件 中・長期計画の見直しに関する件、評議員会開催日および議題内容に関する件
第 4 回	9月17日(水)15:30～	佐久長聖高校、佐久長聖中学校、サミットアカデミーエレメンタリースクール佐久・長野、サミットアカデミーセカンダリースクール長野の学則変更に関する件、長野短期大学の学則変更に関する件 中・長期財政計画の見直しに関する件、評議員会開催に関する件 常任理事会に関する件
第 5 回	12月17日(水)15:00～	令和 7 年度上半期中間決算に関する件、サミットアカデミー校名変更に関する件、学校法人信学会との包括連携協定に関する件、長野短期大学の学則変更に関する件、評議員会次回開催日および議題内容に関する件
第 6 回	3月25日(水)15:10～	令和 8 年度事業計画ならびに予算案に関する件、長野短期大学の学則変更に関する件、長野女子高等学校の廃止に関する件、サミットアカデミー校名変更に伴う寄附行為変更に関する件、評議員会開催に関する件 サミットアカデミー長野校の学則変更に関する件 女子サッカー部、海外クラブチームとの連携に関する件

評議員会

	日 時	主な議題
第 1 回	5月14日(水)14:00～	校長、学長理事の候補者選任に関する件 校長、学長以外の理事候補者選任に関する件
第 2 回	5月28日(水)14:25～	令和 6 年度事業報告並びに決算に関する件、収益事業の今後に関する件 校長、学長の理事の選任に関する件、校長、学長以外の理事の選任に関する件 監事の選任に関する件、卒業生評議員の選任に関する件、学識経験者評議員の選任に関する件、会計監査人の選任に関する件
第 3 回	5月28日(水)15:45～	競業および利益相反取引の制限に関する件
第 4 回	9月17日(水)14:00～	佐久長聖高校、佐久長聖中学校、サミットアカデミーエレメンタリースクール佐久・長野、サミットアカデミーセカンダリースクール長野の学則変更に関する件、長野短期大学の学則変更に関する件 中・長期財政計画の見直しに関する件
第 5 回	12月17日(水)14:00～	令和 7 年度上半期中間決算に関する件、サミットアカデミー校名変更に関する件、学校法人信学会との包括連携協定に関する件 長野短期大学の学則変更に関する件
第 6 回	3月25日(水) 14:00～	令和 8 年度事業計画ならびに予算案に関する件、長野短期大学の学則変更に関する件、長野女子高等学校の廃止に関する件、サミットアカデミー校名変更に伴う寄附行為変更に関する件、卒業生評議員の選任に関する件 サミットアカデミー長野校の学則変更に関する件 女子サッカー部、海外クラブチームとの連携に関する件

Ⅱ 事業の概要

1. 長野短期大学

(1)自己点検・評価と内部質保証

- ・令和 6 (2024)年度に公益財団法人大学・短期大学基準協会による認証評価を受審し、短期大学評価基準を満たしているとして「適格」の認定を受けたことを受け、引き続き内部質保証システムの適切な運営に努めた。
- ・令和 8 (2026)年度より、幼児教育学科の入学定員を 50 名から 35 名に変更する手続きを行った。
- ・幼児教育学科に、信学会「奨学金制度」を新設し、保育士・幼稚園教諭志望者に対し経済的に支援する取り組みを開始した。

(2)質の高い教育の実施

- ・令和 7 年度 全国栄養士養成施設協会主催 栄養士実力認定試験 (7,163 名受験) で学生 1 名が全国 1 位の成績をおさめた。
- ・来年度の学科教育の見直しを行うとともに、科目の充実と授業方法にアクティブ・ラーニングや ICT を活用して授業の理解度の向上を図る取組を行った。

(3)教育指導体制の充実・学生支援

- ・ハラスメントの相談窓口の充実を図り、すべての構成員 (学生・教職員) が安全で安心して学修・研究・就業できる環境を保障できるよう取り組んだ。
- ・障がいのある学生 (精神疾患、視覚障害、難聴、など) への合理的配慮として、座席等の移動実習・実技時間中での一時的な休憩など、授業での調整、および学習計画支援を実施した。

(4)研究体制の充実と活性化

- ・「公的研究費ハンドブック」、「研究活動に関する倫理ガイドライン」、「研究データの保存等に関するガイドライン」、「科学研究費補助金取扱要領」を作成し、運用した。
- ・文科省科研費等の外部資金を獲得し研究に取り組んだ。(2 件)
- ・長野短期大学研究紀要第 22 号を発刊。研究活動の活性化を図った。

(5)入試広報活動の充実

- ・オープンキャンパスを 6 回(3 月、5 月、6 月、7 月、8 月、9 月)実施した。
- ・入学試験を 9 回(10 月、11 月、12 月、2 月)実施した。
- ・本学を会場に、高校の先生との連絡会、高校の先生と学生の懇話会を行った。
- ・テレビ CM を放映するほか、学生のテレビの情報番組への出演や広報誌への掲載、ホームページ及びインスタ、各受験情報サイト、情報誌等を活用し積極的な広報活動を行った。
- ・指定校推薦高校数の拡大、高校訪問、進学説明会、出前授業を実施した。

(6)関係機関との連携

- ・飯綱町家族介護支援事業「健康寿命延伸いきいき講座」を短期大学教員が講師として参画。
(メーラプラザホール、りんごパークセンター)
- ・長野県栄養士会北信支部「まちかど栄養相談室」に短期大学教員がスタッフとして参画。(長野県庁、長野短期大学)
- ・信学会幼稚園教諭・保育士のスキルアップ教育の講師として、本学教員が参画した。

- ・きのこマイスター認定講座講師として、短期大学教員が講師として参画した。

(7)地域との連携

- ・長野短期大学公開講座「童謡・ふれあい遊び・やさしい合唱」、「モッツアレラチーズを作ろう」を開催し、地域の方々60名の参加があった。
- ・「第57回しらうめ祭」を10月に開催し、7年ぶりに一般公開を行った。
- ・学生ボランティア活動として以下の地域イベント等に参加し活動した。
 - ①7月「信州環境フェア」（長野市トイゴ広場）
 - ②10月「ナガノきのこ大祭」（千曲市信州の幸あんずホール）
 - ③11月「長野高専キッズサイエンス20205」（長野工業高等専門学校）
 - ④1月長野県子育て支援事業「わくわく広場」（篠ノ井交流センター）

(8)卒業生への支援

- ・本学卒業生を対象とした『管理栄養士国家試験対策講座』を8月に開催した。

(9)卒業生の免許、資格の取得状況（令和7年度卒業生）

<食物栄養学科>

卒業者数	栄養士免許 取得者数	フードスペシャリ スト資格	健康管理士一般 指導員資格	ベーシックきのこ マイスター資格
27名	26名	6名	10名	12名

<幼児教育学科>

卒業者数	保育士資格	幼稚園2種免許
10名	10名	9名

(10)就職、進学状況（令和7年度卒業生）

	卒業者数	就職希望者数	就職決定者数	進学者数
食物栄養学科	27名	24名	24名	3名
幼児教育学科	10名	10名	10名	0名

2. 長野女子高等学校

○閉校に向けて

令和7年度末をもって、1925年の創立以来、一貫して女子教育を行ってきた県下最古の女子高校としての使命を終えた。建学の精神「梅花不撓風雪」のもと、教育目標として掲げた「礼儀を重んじ、思いやりの心を持ち、女性らしい温雅と清らかな心を培う」（礼節）、「自らの知識と技能を体得し、正しく広く真理を追究していく清新な姿勢と能力を養う」（教養）、「責任と義務を自覚し、思慮深く適切な判断のもとに行動できる実践力を養う」（誠実）の三つの柱を礎として、本校は心豊かで自立した女性の育成に力を尽くしてきた。

今年度、本校の歴史を締めくくるにあたり、最後の卒業生となる生徒たちが、安心・安全な学校

生活を送り、希望する進路を実現し、誰一人取り残されことなく全員が揃って卒業の日を迎えられるよう支援することを最終目標とした。

○教育課程と生徒数

令和7年度は、最後の卒業生となる第3学年1クラス23名でのスタートとなった。(進学コース4名、生活文化コース8名、クリエイティブコース11名)

○令和7年度の重点目標

・最後となる生徒たちが、学びと成長に専念できる、穏やかで充実した学校生活を送り、一人ひとりが希望する進路を実現するとともに、一人の離脱者も出すことなく卒業の日を迎えられることを最終重点目標とすること、

・「締めの一筆、匠の誇り」一井戸を掘った人を忘れないと定めた。

閉校にあたり、「創立百周年記念兼閉校記念事業」を通じてこれまで本校を支えてくださった多くの方々と感謝の思いを分かち合い、その節目を厳かに、そして心を込めて締めくくる、とした。

○令和7年度の主な取り組みと活動

・『創立百周年記念兼閉校記念事業』

① 同窓会 3月8日(土) 於本校アリーナ

② 新海誠講演会+記念樹の植樹 4月12日(土) 於本校アリーナ

③ サヘル・ローズ講演会 5月10日(土) 於JAアクティホール(長野市)

④ 舞台公演 劇団四季ミュージカル「赤毛のアン」協賛 6月22日(日) 於ホクト文化ホール(長野市)

⑤ 創立百周年及閉校記念式典 9月27日(日) 於本校アリーナ

記念品：箸置き、女子高オリジナルブレンド『八幡屋磯五郎七味』、ピンクッション、記念誌

・3年生沖縄修学旅行実施(4月22日～4月25日/3泊4日)。首里城、ひめゆり平和記念資料館、平和祈念公園、糸数アブチラガマ、アメリカンビレッジ、読谷ファーマーズマーケット、道の駅かなで、美ら海水族館、ブセナ海中公園、万座毛、国際通り。

・芸術鑑賞 音楽『THE SOULMATICS』(ゴスペルコンサート) 於ホクト文化ホール

・防災訓練 5月23日(金)

・城山ピクニック&レクリエーション 於長野市城山公園 6月13日(金)

・第70回白梅祭 9月27日(土)・28日(日)

・人権教育 12月5日(金)

・学習成果発表会 令和8年2月5日(木)

・卒業前特別講座・金融経済教育『これからの自分とお金の付き合い方』(みずほ証券出張授業) 令和8年2月19日(木)

・生徒会誌「白梅」第67号/最終号発行 令和8年3月1日

・卒業式+校旗返納 令和8年3月1日 (卒業記念品 記念樹植栽一式)

3学年23名が卒業(4年制大学2名、短期大学3名、専門学校13名、就職5名)。

・創立百周年記念誌 令和8年6月上旬頃刊行予定。

3. 佐久長聖高等学校

1) 次世代を担う人材育成の促進

① グローバル人材教育を目的として英語教育強化

グローバルコンピテンスの育成、グローバルマインドの醸成を図る。VUCA 時代に生きるための必要なスキルを身につけるため、外部講師を招き 1 学年対象に週 1 回実施した。

② 帰国子女、海外留学生の受け入れの環境整備

中国からの留学生の受け入れ、校内におけるダイバシティ化を目的とする。在学中は、日本語力向上を図り、日本の大学進学をサポートする。

日本語のフォローアップも週 2 回実施。

帰国子女 4 名、留学生 5 名を受入れ。

③ 数理・データサイエンス・AI 教育等の推進

フィリピン・セブ島の講師とオンラインで英会話のレッスンを行いコミュニケーションのとれる英語力育成を目的とし、ネイティブスピーカーを特別非常勤講師として生の英語に触れさせることを目的とし 1 年生、2 年生、希望する 3 年生に対し実施した。

④ 資格取得に関する支援

令和 7 年度、実用英語技能検定 1 級に 2 名が合格

2) 教職員体制の整備

① 繰返し指導や個別指導等習熟の程度に応じた指導

個別学習指導➡ 放課後ゼミ、長期休業ゼミ、中間考査の質問部屋の設置、入試・英語検定対策の面接指導、入試対策の小論文指導、留学希望者への個別指導。

② ティームティーチングによる指導

英語の授業において、従来の講義形式に加え、外国人講師と英語教師に 2 人による対話型授業を行なう。

③ 体験的な問題解決的な学習を重視する指導

グローバルコンピテンスの育成により、グローバルマインドの醸成をはかる。答えのない問いをグループでアクティビティを通し考えていく。

④ 全学年で探究活動への取り組み

探究授業の充実を図るため、教員向けに外部講師を招き、探究の「ナビゲーター研修」を定期的に実施した。研修は令和 8 年度も継続中である。加えて、研修の充実を図るために助成金の申請を行い、結果待ちとなっている。

3) 教育相談体制の整備

① スクールカウンセラーの活用

外部の有資格者による年間 20 回の相談窓口を設置

②不登校の生徒の教育機会について支援

不登校傾向の生徒に対し別室登校の教室を設け、教員を配置し支援をおこなう。

4) 卒業生進学実績について

大学入試合格実績(2021～2026 年度入試)

1 国公立大学の合格実績

年 度	2026		2025		2024		2023		2022		2021	
大 学 名	総数	現役	総数	現役	総数	現役	総数	現役	総数	現役	総数	現役
東京									1	1		
京都					1	1			1	1		
一橋	2	1	1	1								
東京科学			2	1	*	*	*	*	*	*	*	*
(東京工業)	*	*	*	*	1	1			1	1		
(東京医科歯科)	*	*	*	*	1	1						
大阪	1	1			1	1	1		1	1		
東北			1	1	1	1						
名古屋			1	1	1				1	1		
北海道	2	2			1	1			2	2	1	1
東京外国語			1	1							1	1
お茶の水女子	1	1	1	1	1	1						
筑波	4	4	2	1	1	1			2	2		
千葉	1	1	3	3	1	1						
横浜国立	1	1			1	1					1	
金沢			2	2			2	2	1	1	2	2
東京学芸							1	1	3	2		
電気通信					2	2						
東京農工	1	1										
東京海洋	1				1	1					1	1
東京藝術					1	1	1	1				
東京都立									1	1	1	1
茨城	1		1	1	3							
群馬	4	4			2	2	2	2	2	1		
高崎経済			2	2	1	1					2	2
埼玉	1	1	3	2	1	1					1	1
信州	8	7	14	12	12	9	10	6	6	3	9	8
長野県看護	1	1			1	1	1	1	2	2	1	1

長野	3	3	1	1	3	3	2	1	1	1	3	3
長野県立			3	3	1	1	3	3	5	5	3	2
諏訪東京理科			1	1			2	2	1			
新潟	1	1	2	2	3	3					5	5
富山	1	1	3	3	2	1	1		1		3	3
山梨			2	2	1	1					1	1
都留文科	1	1	1	1	2	2	1	1			1	
山梨県立							1	1			1	1
静岡			1	1							1	1
静岡県立			2	2					1	1		
秋田	1	1	1	1		1	1	1				
山形	1		2	2							1	1
奈良女子	1	1	2	2			1	1			1	
和歌山	1	1									1	1
大阪公立					1	1	1	1			*	*
(大阪府立)	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1	1
(大阪市立)	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
その他	13	11	5	4	11	10	11	8	12	9	11	10
文部省管轄外												
防衛医科大学校									4	4		
防衛大学校	1	1			1	1						
国立看護大学校					1	1						

2 医学部医学科の合格実績

年 度	2026		2025		2024		2023		2022		2021	
大 学 名	総数	現役	総数	現役	総数	現役	総数	現役	総数	現役	総数	現役
東京医科歯科					1	1						
名古屋					1							
北海道									1	1		
筑波	1	1										
信州			2	1	5	2	2				1	1
新潟			1	1								
山形	1											
その他国公立							2		5	3		
順天堂	1											
自治医科			1				2				1	1
東京医科	1	1					1					
国際医療福祉	1						2	1				

その他私立	6	4	6	1	6	3	18	6	7	5	4	
合計	11	6	10	3	13	6	27	7	15	11	6	2

3 主な私立大学の合格実績

年 度	2026		2025		2024		2023		2022		2021	
大 学 名	総数	現役	総数	現役	総数	現役	総数	現役	総数	現役	総数	現役
早稲田	8	8	10	8	10	10	3	3	10	10	7	5
慶應義塾	4	3	5	4	3	2	2	2	3	2	2	2
上智	4	4	3	2	4	4	2	2			1	1
東京理科	4	4	16	13	5	4	5	4	9	7	5	4
国際基督教			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
明治	9	6	16	13	23	19	4	4	4	2	8	4
青山学院	3	2	4	4	5	4	3	2	4	3	9	7
立教	5	5	11	8	12	12	5	5	7	4	7	6
中央	13	11	12	12	13	12	8	5	6	3	9	7
法政	5	5	10	9	5	4	5	4	7	2	5	4
学習院	2	1	1		4	4	2	1	2	2		
同志社	4	4	7	7	6	6	4	2	6	6	5	5
立命館	4	3	5	4	4	3	3	1	3	3	6	5
関西	2	2	3	1			3	2	3	3	1	1
関西学院	3	3	3	3			1	1	3	3	2	2
成蹊					3	3	2	2	1	1	2	1
成城	1	1	1	1	4	4	2	2	1	1	3	3
明治学院	10	10	5	5	12	11	6	6	6	4	7	7
獨協	6	4	10	10	12	12	9	7	6	6	6	6
國學院			3	2	7	7	2	1			1	
日本	16	14	17	15	17	14	19	16	23	19	14	12
東洋	13	12	17	17	16	14	11	7	8	6	13	13
駒沢	2	2	4	4	3	3	5	2	3	3	7	6
専修	3	3	4	3	12	9	3	3	8	5	3	3
順天堂	6	6	7	7	5	5	8	8	6	6	7	6
芝浦工業	4	2	2	2	9	9	1	1	3	2	2	1
東京電機	2	2	2	2	1	1	4	2	1	1	1	1
東京都市	2	2	1	1	1	1	3	2	1	1	2	2
工学院	9	7	6	6	6	6	2	2	6	4	1	1
千葉工業	7	5	6	6	8	4	5	4	5	3	3	1

4 海外大学の合格実績

年 度	2026	2025	2024	2023	2022	2021
合格者	6	1	1	5	9	6

4. 佐久長聖中学校

1) 特色ある教育

①グローバル化に対応した教育体制の充実

英語検定の団体受験 令和7年度5月（174人）、9月（168人）、1月（123人）

②グローバル人材育成のための英語教育の強化

グローバルコンピテンスプログラムを活用した授業を実施（全学年）

③数理・データサイエンス・AI教育等の推進

フィリピン・セブ島の講師とオンラインで英会話のレッスンを行いコミュニケーションのとれる英語力育成を目的とし、ネイティブスピーカーを特別非常勤講師として生の英語に触れさせることを目的とし全学年に対し実施した。

④全学年で探究活動への取り組み

「考える」「伝える」「深める」「行動する」の4つのステップを通じて、思考力・表現力・判断力を磨くとともに、共感力・コミュニケーション能力を高めるべく探究活動を指導した。

5. サミットアカデミーエレメンタリースクール佐久

1) グローバル化に対応した教育体制

①イマージョン教育

インターナショナルスタッフ（Int'l staff）による英語イマージョンの授業科目は「算数・生活・理科・図工・体育・英語・総合」、日本人教諭による授業は「国語・社会・道徳・音楽・家庭・特別活動」を実施。英語での授業は全体の60%程度、小学校6年間では約4,000時間の授業で英語のシャワーを浴び、英語を学ぶ授業も小学1年生から取り入れるなど英語のサポートも行った

②海外研修

3泊4日で語学研修も兼ねた世界の文化を学ぶためにブルネイへの海外研修を行った。

6. サミットアカデミーエレメンタリースクール長野

1) 特別支援教育に係る活動の充実

①外部指導者による研修

信州大学医学部精神医学教室の准教授で、同附属病院子どものこころ診療部医師の篠山大明先生に令和7年度は4度来校いただき、コミュニケーションの困難さ、多動性や不注意、強いこだわり、学習面での困難などの特性のある児童への対応の仕方について助言をいただいた。

②外部人材の活用

苦手科目のある児童への取り組み支援、教材準備や学習環境づくりの補助などの学習サポート全般

を行う学習指導員をつけた。

③ICTを活用した教育環境の構築

ICT 端末のリース契約（保守契約含む）を締結し、デジタル教育を実施。

7. サミットアカデミーセカンダリースクール長野

1) グローバル人材育成のための英語教育の強化

- ①志賀高原で English Camp を実施。様々な生き方や幅広いスキル、背景を持つ外国の方々とのアクティビティやディスカッションを通して、英語力を高め、広い視野・多様な視点を身につける。
- ②英語4技能の向上のため、ネイティブスピーカーの教員・講師を雇用し、日本語教員が担任のホームルームの運営やサポートのほか、英語や総合的な学習の時間などの授業を行った。
- ③英語力の向上を図るために、オンライン教材の「Raz-Plus」を導入し、多読学習を行った。
- ④英語を使って行う授業や活動でのチームティーチング指導や授業の支援を行う学習サポートを行う学習指導員をつけた。

Ⅲ 財務の概要

（1）決算の概要

令和7年度、本業である事業活動収入では、前年比△57,845千円とマイナスとなりましたが、資金収支計算書、翌年度繰越支払資金は、微増ではありますが前年度繰越金に対し3,843千円増加し1,428,204千円が翌年度に繰越され、次年度の運営資金としての現金預金は確保されています。

また、本業の損益を表す基本金組入前当年度収支差額では、全体としてマイナス435,940千円の結果となりました。しかしながら、マイナス幅は、現金を伴わない減価償却費と会計基準変更に伴う賞与引当特別繰入額の範囲内に収まっており、これらを除いた実質的な教育活動収支差額は、107,813千円のプラスとなりました。令和7年度も法人全体としての収支均衡は維持できております。

全体動向を踏まえ、地区別の主な変動点について、佐久地区（小・中・高）では、小学校の募集人員の差や高校の過渡期的な在籍減など、構造的な減収により教育活動収支差額はマイナスとなりましたが、地区単体でもこのマイナスは減価償却費の範囲内であり、資金収支（C/F）はプラスを維持して全体を牽引しております。

続いて、長野地区（小・中等・短大・高）になります。

この年度で閉校を迎えた長野女子高校は、支出は概ね計画通りに推移し、収入は補助金収入が当初予算を上回り交付され収支の下支えとなりました。

開校2年目のサミットアカデミーエレメンタリースクール長野（以下、S A E スクール）とサミットアカデミーセカンダリースクール長野（以下、S A S スクール）は、ともに定員割れとなりましたが、運営効率化により、令和7年度は、充足率が厳しいながらも資金収支（C/F）でプラスとなりました。一方で、S A S スクールは、定員割れ厳しい中、カリキュラムの都合上、人件費等の固定費が先行し、収支を圧迫しました。

また、短大では、既存の食物栄養学科は概ね堅調に推移しているものの、設置2年目を迎えた幼児教育科の入学者数が計画を下回ったことが影響し、短大全体として収支の均衡（バランス）が崩

れ、厳しい状況が継続しています。18歳人口の急減という外部環境や経済状況の悪化による学費負担の軽減も考慮しつつ、募集広報活動の強化とともに、短大全体の収支構造を見直し、中長期的な視点での効率化や経営の合理化を進めていくこととします。

(2) 資金収支計算書の概要、資金収支計算書の経年比較

令和7年度資金収支計算書（法人全体）

（単位：千円）

科 目	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
学生生徒等納付金収入	924,436	940,160	950,990	1,094,801	1,044,263
手数料収入	89,750	98,131	111,577	99,619	99,508
寄付金収入	27,874	4,257	19,097	3,109	4,504
補助金収入	540,637	560,812	618,844	641,292	655,791
資産売却収入	31,213	39,602	150,000	55,988	50,586
付随事業・収益事業収入	178,294	133,742	174,083	619,647	104,141
受取利息・配当金収入	6,242	6,090	5,295	4,993	6,766
雑収入	105,017	91,091	125,949	94,713	82,768
長期借入金収入	0	0	0	550,000	0
短期借入金収入	0	0	600,000	130,000	150,000
前受金収入	211,206	232,016	260,126	220,512	216,368
その他の収入	262,706	266,424	3,059,542	397,914	172,981
資金収入調整勘定	△ 322,088	△ 64,195	△ 448,460	△ 392,707	△ 308,488
前年度繰越支払資金	1,146,296	1,195,621	747,585	981,907	1,424,361
収入の部 合計	3,201,583	3,503,751	6,374,628	4,501,788	3,703,548
人件費支出	1,314,769	1,362,850	1,303,681	1,445,028	1,408,131
教育研究費支出	232,743	260,405	381,624	492,397	289,933
管理経費支出	160,311	169,850	168,331	470,424	178,236
借入金等利息支出	12,565	12,074	12,714	13,989	13,404
借入金等返済支出	92,436	92,436	692,436	259,108	279,108
施設関係支出	54,964	229,510	2,765,450	104,537	21,587
設備関係支出	15,488	32,166	137,196	52,427	44,183
資産運用支出	26,516	75,085	0	108	7
その他の支出	221,773	311,223	172,484	376,827	137,555
資金支出調整勘定	△ 125,492	△ 116,390	△ 241,195	△ 137,419	△ 96,800
翌年度繰越支払資金	1,195,621	1,074,543	981,907	1,424,361	1,428,205
支出の部合計	3,201,694	3,503,752	6,374,628	4,501,788	3,703,548

注：令和3年度～4年度は(学)長野家政学園と(学)聖啓学園を合算した数字。

(3) 事業活動収支計算書の状況

令和7年度事業活動収支計算書（法人全体）

（単位：千円）

	科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
教育活動収入	学生生徒等納付金	924,437	940,160	950,990	1,094,801	1,044,263
	手数料	89,860	98,131	111,577	99,619	99,508
	寄付金	22,874	2,457	19,097	3,109	4,504
	補助金	540,637	560,812	618,844	622,042	655,791
	付随事業収入	178,294	133,191	172,544	130,387	104,141
	雑収入	105,017	91,091	130,065	99,997	83,903
	教育活動収入計	1,861,119	1,825,842	2,003,117	2,049,955	1,992,110
教育活動支出	人件費	1,312,794	1,363,606	1,303,680	1,445,028	1,410,077
	教育研究経費	539,730	573,833	715,395	764,723	737,574
	管理経費	174,457	186,139	185,226	181,168	204,826
	教育活動支出計	2,026,981	2,123,578	2,204,301	2,390,919	2,352,477
	教育活動収支差額	△ 165,862	△ 297,736	△ 201,184	△ 340,963	△ 360,367
教育活動外収入	受取利息・配当金	6,242	6,090	5,295	4,993	6,766
	その他教育活動外収入	0	551	1,539	0	0
	教育活動外収入計	6,242	6,641	6,834	4,993	6,766
教育活動外支出	借入金利息	12,565	12,074	12,714	13,989	13,404
	教育活動外支出計	12,565	12,074	12,714	13,989	13,404
教育活動外収支差額		△ 6,323	△ 5,433	△ 5,880	△ 8,996	△ 6,638
【経常収支差額】		△ 172,185	△ 303,169	△ 207,064	△ 349,960	△ 367,005
特別収入	資産売却差額	2,358	1,236	240	19,250	586
	その他教の特別収入	9,280	1,807	5,351,853	0	0
	教育活動外収入計	11,638	3,043	5,352,093	19,250	586
特別支出	資産処分差額	96,462	15,162	0	0	0
	その他の特別支出	690	0	0	0	69,521
	教育活動外支出計	97,152	15,162	0	0	69,521
特別収支差額		△ 85,514	△ 12,119	5,352,093	19,250	△ 68,935
基本金組入前当年度収支差額		△ 257,699	△ 315,288	5,145,029	△ 330,710	△ 435,940
基本金組入額		△ 99,774	△ 162,569	△ 6,375,667	△ 305,277	△ 166,276
当年度収支差額		△ 357,473	△ 477,857	△ 1,230,638	△ 635,986	△ 602,217
前年度繰越収支差額		△ 1,652,964	△ 1,834,862	△ 4,170,760	△ 5,401,398	△ 6,037,385
基本金取崩額		174,884	0	0	0	0
翌年度繰越収支差額		△ 2,010,437	△ 2,312,719	△ 5,401,398	△ 6,037,384	△ 6,639,601
事業活動収入の部		1,894,618	1,835,525	7,362,046	2,074,198	1,999,461
事業活動支出の部		2,136,698	2,150,814	2,217,016	2,404,908	2,435,402
（うち減価償却費）		321,522	329,717	350,664	472,329	474,232

注：令和3年度～4年度は(学)長野家政学園と(学)聖啓学園を合算した数字。

(4) 貸借対照表の状況

貸借対照表 令和8年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
固定資産	12,212,825	11,871,600	11,650,517	11,279,652	10,821,197
流動資産	1,322,615	1,202,946	1,238,345	1,624,187	1,542,791
資産の部合計	13,535,440	13,074,546	12,888,862	12,903,839	12,363,988
固定負債	2,508,901	2,421,183	2,380,285	2,749,410	2,598,770
流動負債	534,562	476,753	538,712	515,273	562,002
負債の部合計	3,043,463	2,897,936	2,918,997	3,264,683	3,160,772
基本金	12,326,839	12,489,408	15,371,264	15,676,541	15,842,817
繰越収支差額	△ 1,834,862	△ 2,312,719	△ 5,401,398	△ 6,037,385	△ 6,639,601
純資産の部合計	10,491,977	10,176,610	9,969,865	9,639,156	9,203,216
負債及び純資産の部合計	13,535,440	13,074,546	12,888,862	12,903,839	12,363,988

注：令和3年度～4年度は(学)長野家政学園と(学)聖啓学園を合算した数字。

(5) 中・長期計画の策定

令和6年4月開設の私立小学校(2校)、私立中等教育学校及び短期大学の学科新設の状況を踏まえ、法人全体の経営の安定を図るため、令和6年度から令和11年度までの中・長期計画を策定した。今後、その進捗状況を毎年検証し中・長期計画を見直すこととした。